



タイトル「**2024年度危機管理学部(公開用)**」、フォルダ「**危機管理学部**」
シラバスの詳細は以下となります。



科目ナンバー	RMGT4603S		
科目名	ゼミナールⅢ		
担当教員	山添 謙		
対象学年	3年,4年	開講学期	後期
曜日・時限	月 4		
講義室	1303	単位区分	必
授業形態	演習・ゼミナール	単位数	2
科目大分類	専門		
科目中分類	専門統合		
科目小分類	専門統合・演習		
科目の位置付け（開発能力）	■ D Pコード-学修のゴールを示すディプロマポリシーとの関連 DP1-E [学識・専門技能] 専門分野にかかる理論知と実践知を獲得し利用することができる。 DP3-G [状況把握力・判断力] 自らの置かれた状況、及び自己が帰属する集団の内外の状況を的確に把握し、適切に対応することができる。 DP4-F [探求力・課題解決力] 問を設定し又は論点を特定し、それに対する答・結論・判断を合理的に導くために、論拠の収集と分析を体系的に行うとともに、オープンエンドな問題・課題に答えるための方略をデザインし、検証し実行することができる。 DP6-K [表現力・対話力] 文章及び口頭で、自らの考えを的確に表現し、他者に過不足なく伝達することができる。 DP7-L [協働力・牽引力] 集団的に課題解決を行う際に、自己の立場や責任を認識し、互いに集団の連帯を強めることができる。 DP8-M [省察力] 知識と経験とを関連付け学修成果を活用可能な状況に高めるとともに、これを新しく複雑な状況に転移させ課題解決につなげることができる。 ■ C Rコード-学修を通じて開発するマインドセット・ナレッジ・スキルを示すコモンルーブリック（C R）との関連 C1 倫理的思考・社会認識（10%） E1 学識と専門技能（20%） I1 理解・分析と読解（10%） K1 ライティング・コミュニケーション（20%） K2 オーラル・コミュニケーション（20%） L1 チームワーク（10%） M1 総合的・応用的学修（10%）		
教員の実務経験	ありません。		
成績ターゲット区分	■成績ターゲット 能力開発の目標ステージとの対応 3 発展期 ～ 4 定着期		
科目概要・キーワード	危機管理とその基礎となる法学に関する専門的な研究活動を実践するために、必要な研究の手法を学び、学生自らが個人の研究テーマを設定し、研究論文を執筆するための指導を行います。学生自らが危機管理に関する問題を発見し、仮説を構築し、自力で仮説を検証することにより、問題の解決につなげ、危機管理能力を養うこととします。 ここでは、問題意識を確立し、卒業論文につながる個人研究のテーマを決定すると同時に、先行研究を収集して専門領域に関する知識を獲得できるよう指導します。" 授業形態は演習形式により行います。なお、対応するコンピテンスに基づき効果的な授業方法として、又は各授業を補完・代替するためオンライン授業を一部取り入れる場合があります。		

	す。 ■キーワード 危機管理、研究論文、研究課題、先行研究						
授業の趣旨	■副題 人間社会が展開する空間における危機管理学的諸課題を環境論的視点から考える ■授業の目的 本ゼミナールでは、人間社会が抱える危機管理学的諸課題を環境論的に概観し、ゼミナール履修者が最終的に作成する卒業論文を執筆するために必要なスキルを認識し、受講者自らの関心に基づき研究テーマを模索し、卒業論文に向けて研究を進めていきます。当科目では、関心ある領域に関する先行研究を概観し、危機管理学的な課題を抽出し、課題解決のために求められる研究方法や資料を認識し、研究計画策定につなげていくことを目的としています。 ■授業のポイント ゼミナール科目の最終目標が「卒業論文の執筆」であることの認識を深めます。ゼミナールⅠ～Ⅴにおいて、卒業論文執筆のために必要な、手法や資料収集、解析方法等に加え、研究課題設定のために取り組むべきことを1つ1つ確認しながら研究計画を策定します。また、ゼミナールが教員—学生間だけでなく、学生同士の協働により成り立っていることを確認し、協働のための力も養います。						
総合到達目標	■危機管理学における社会課題を探究し、課題を科学的解析によって解決に導くことができる。 ・「学問」とは何か、アカデミックとは何かを考える（第1回） ・危機管理学とは何かを検討し、危機管理学的探究について考える（第2回～第3回） ・危機管理学的探究の特徴について考える（第2回～第3回） ■科学的分析方法について理解し、卒業論文に必要な論理的な方法を説明できる。 ・得られた成果や考察などの議論の結果から研究がどのような社会とかわるのかを検討する（第4回～第15回） ・研究の結論を明確にするとともに今後の課題について整理する（第8回～第15回）						
成績評価方法	■授業における発表3回（50%）：適用ルーブリック C1、E1、I1、K1、K2、L1、M1（評価の観点） 発表資料が適切に作成できているか。限られた紙面、限られた時間に適切に説明ができているか。提示された質問や意見に対していて季節に対応できているか。 （フィードバックの方法） 発表内容について、評価の観点に基づいて発表後に講評を行います。 ■授業参加度 15回（50%）：適用ルーブリック C1、E1、I1、K1、K2、L1、M1（評価の観点） 他者の発表に対する質問・意見を積極的に発言しているか、他者から示された意見を傾聴し、議論に参加しているかを評価します。 （フィードバックの方法） 授業終了時に、よい取り組みについて指摘し、評価をします。						
履修条件	「地理学1・2」「地球科学1・2」を履修していることが望ましい。						
履修上の注意点	授業を無断欠席しない。						
授業内容	<table border="1"> <thead> <tr> <th>回</th><th>内容</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td><td> ①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業のねらいと内容、授業計画、成績評価、留意点等の説明をとおり、授業の全体像を理解する（E1、L1、M1）。 ③予習（120分） シラバスを精読する。 ④復習（120分） ゼミナールという演習授業における自分の学修目標を考える。 </td></tr> <tr> <td>2</td><td> ①授業テーマ 大学で何を学ぶか。学問とは何かを考える。 ②授業概要 中等教育までに身につけた「知識」等を問い直し、大学での学びへどのように活かすのかを考え、ゼミナールにおける学修活動の意義について説明できる（E1、I1、K1、M1）。 ③予習（120分） 大学入学までの学びを振り返る。 ④復習（120分） 学び修めることの意味を見出し、ゼミナールにおいて必要な活動について振り返る。 </td></tr> </tbody> </table>	回	内容	1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業のねらいと内容、授業計画、成績評価、留意点等の説明をとおり、授業の全体像を理解する（E1、L1、M1）。 ③予習（120分） シラバスを精読する。 ④復習（120分） ゼミナールという演習授業における自分の学修目標を考える。	2	①授業テーマ 大学で何を学ぶか。学問とは何かを考える。 ②授業概要 中等教育までに身につけた「知識」等を問い直し、大学での学びへどのように活かすのかを考え、ゼミナールにおける学修活動の意義について説明できる（E1、I1、K1、M1）。 ③予習（120分） 大学入学までの学びを振り返る。 ④復習（120分） 学び修めることの意味を見出し、ゼミナールにおいて必要な活動について振り返る。
回	内容						
1	①授業テーマ ガイダンス ②授業概要 授業のねらいと内容、授業計画、成績評価、留意点等の説明をとおり、授業の全体像を理解する（E1、L1、M1）。 ③予習（120分） シラバスを精読する。 ④復習（120分） ゼミナールという演習授業における自分の学修目標を考える。						
2	①授業テーマ 大学で何を学ぶか。学問とは何かを考える。 ②授業概要 中等教育までに身につけた「知識」等を問い直し、大学での学びへどのように活かすのかを考え、ゼミナールにおける学修活動の意義について説明できる（E1、I1、K1、M1）。 ③予習（120分） 大学入学までの学びを振り返る。 ④復習（120分） 学び修めることの意味を見出し、ゼミナールにおいて必要な活動について振り返る。						

3	①授業テーマ ゼミナール活動，卒業論文に必要なナレッジ・スキル ②授業概要 プレゼンテーションの方法、環境論における卒業論文執筆の方法を具体的に挙げ，それぞれの修得方法について説明できる（E1、I1、K1、K2）。 ③予習（120分） ゼミナールⅠ，ゼミナールⅡで学修したプレゼンテーションの方法を今一度確認する。 ④復習（120分） 「注のつけ方」，文献リストの作成法を振り返り，卒業論文において，注や文献がなぜ必要なのかをまとめる。
4	①授業テーマ 研究課題の選定、研究方法の検討（1） ②授業概要 研究課題の選定へ向け、各自の関心のある課題およびその研究方法について発表し、受講者全員で議論を行う（C1、E1、I1、K1、K2、L1、M1）。 ③予習（120分） 発表者は研究課題の候補について検討し、発表のための準備を行う。 ④復習（120分） 発表および授業での議論（質問と意見）、教員によるコメントを踏まえ、自らの研究テーマに関し再検討を行う。
5	①授業テーマ 研究課題の選定、研究方法の検討（2） ②授業概要 研究課題の選定へ向け、各自の関心のある課題およびその研究方法について発表し、受講者全員で議論を行う（C1、E1、I1、K1、K2、L1、M1）。 ③予習（120分） 発表者は研究課題の候補について検討し、発表のための準備を行う。 ④復習（120分） 発表および授業での議論（質問と意見）、教員によるコメントを踏まえ、自らの研究テーマに関し再検討を行う。
6	①授業テーマ 研究課題の選定、研究方法の検討（3） ②授業概要 研究課題の選定へ向け、各自の関心のある課題およびその研究方法について発表し、受講者全員で議論を行う（C1、E1、I1、K1、K2、L1、M1）。 ③予習（120分） 発表者は研究課題の候補について検討し、発表のための準備を行う。 ④復習（120分） 発表および授業での議論（質問と意見）、教員によるコメントを踏まえ、自らの研究テーマに関し再検討を行う。
7	①授業テーマ 研究課題の選定、研究方法の検討（4） ②授業概要 卒業論文の研究課題の選定へ向け、各自の関心のある課題およびその研究方法について発表し、受講者全員で議論を行う（C1、E1、I1、K1、K2、L1、M1）。 ③予習（120分） 発表者は研究課題の候補について検討し、発表のための準備を行う。 ④復習（120分） 発表および授業での議論（質問と意見）、教員によるコメントを踏まえ、自らの研究テーマに関し再検討を行う。
8	①授業テーマ 卒業論文中間発表（1） ②授業概要 卒業論文の研究課題の確定へ向け、研究テーマおよびその研究方法について発表し、受講者全員で議論を行う（C1、E1、I1、K1、K2、L1、M1）。 ③予習（120分） 発表者は卒業論文の研究課題の現状について検討し、発表のための準備を行う。 ④復習（120分） 発表および授業での議論（質問と意見）、教員によるコメントを踏まえ、自らの研究テーマに関し再検討を行う。

9	①授業テーマ 卒業論文中間発表（2） ②授業概要 卒業論文の研究課題の確定へ向け、研究テーマおよびその研究方法について発表し、受講者全員で議論を行う（C1、E1、I1、K1、K2、L1、M1）。 ③予習（120分） 発表者は卒業論文の研究課題の現状について検討し、発表のための準備を行う。 ④復習（120分） 発表および授業での議論（質問と意見）、教員によるコメントを踏まえ、自らの研究テーマに関し再検討を行う。
10	①授業テーマ 卒業論文中間発表（3） ②授業概要 卒業論文の研究課題の確定へ向け、研究テーマおよびその研究方法について発表し、受講者全員で議論を行う（C1、E1、I1、K1、K2、L1、M1）。 ③予習（120分） 発表者は卒業論文の研究課題の現状について検討し、発表のための準備を行う。 ④復習（120分） 発表および授業での議論（質問と意見）、教員によるコメントを踏まえ、自らの研究テーマに関し再検討を行う。
11	①授業テーマ 卒業論文中間発表（4） ②授業概要 卒業論文の研究課題の確定へ向け、研究テーマおよびその研究方法について発表し、受講者全員で議論を行う（C1、E1、I1、K1、K2、L1、M1）。 ③予習（120分） 発表者は卒業論文の研究課題の現状について検討し、発表のための準備を行う。 ④復習（120分） 発表および授業での議論（質問と意見）、教員によるコメントを踏まえ、自らの研究テーマに関し再検討を行う。
12	①授業テーマ 卒業論文中間発表（5） ②授業概要 卒業論文の研究課題の確定へ向け、研究テーマおよびその研究方法について発表し、受講者全員で議論を行う（C1、E1、I1、K1、K2、L1、M1）。 ③予習（120分） 発表者は卒業論文の研究課題の現状について検討し、発表のための準備を行う。 ④復習（120分） 発表および授業での議論（質問と意見）、教員によるコメントを踏まえ、自らの研究テーマに関し再検討を行う。
13	①授業テーマ 卒業論文中間発表（6） ②授業概要 卒業論文の研究課題の確定へ向け、研究テーマおよびその研究方法について発表し、受講者全員で議論を行う（C1、E1、I1、K1、K2、L1、M1）。 ③予習（120分） 発表者は卒業論文の研究課題の現状について検討し、発表のための準備を行う。 ④復習（120分） 発表および授業での議論（質問と意見）、教員によるコメントを踏まえ、自らの研究テーマに関し再検討を行う。
14	①授業テーマ 卒業論文中間発表（7） ②授業概要 卒業論文の研究課題の確定へ向け、研究テーマおよびその研究方法について発表し、受講者全員で議論を行う（C1、E1、I1、K1、K2、L1、M1）。 ③予習（120分） 発表者は卒業論文の研究課題の現状について検討し、発表のための準備を行う。 ④復習（120分） 発表および授業での議論（質問と意見）、教員によるコメントを踏まえ、自らの研究テーマに関し再検討を行う。
15	①授業テーマ まとめ

	②授業概要 これまでの14回の授業を振り返り、卒業論文の作成に必要なナレッジ・スキルがどのように身に付いたのか発表し、春休みの計画を立てる（E1、I1、K1、K、M1）。 ③予習（120分） 自身の発表、授業全体の議論を振り返る。 ④復習（120分） ゼミナールⅣまでの研究計画を立てる。
関連科目	「ゼミナールⅠ～Ⅱ」（RMGT4601S～RMGT4602S）「ゼミナールⅣ～Ⅴ」（RMGT4604S～RMGT4605S）
教科書	なし
参考書・参考URL	授業中に示します。
連絡先・オフィスアワー	■連絡先 開講時に告知します。 ■オフィスアワー 開講時に告知します。
研究比率	■危機管理領域との対応 災害マネジメント30%：パブリックセキュリティ20%：グローバルセキュリティ30%：情報セキュリティ20% ■危機管理学と法学とのバランス 法学10%：危機管理学90%

